

## ★第2回東北アコーディオンジャンボリー取材記★

昨年に続き11月8日(土)～9日(日)の二日間、にわたり仙台市郊外の秋保温泉にて『第2回東北アコーディオンジャンボリー』が開催されました。東京からは昨年と同じ三多摩教室からの4人を含め9人が参加しました。

東京駅を朝の10時に出て、わずか1時間半ほどで仙台駅に着き、宿泊先の宿手配のマイクロバスで約30分紅葉に色付き始めた山並みを観ながら秋保温泉町のはずれにある「山菜荘」に到着。さっそくロビーでのジャンボリー参加受付をすませ各自部屋に入る。旅館の渡り廊下の先に小さな講堂があり、そこが3時からのセミナー会場になっていた。

伴奏講座「リズムの力と実技について」昨年に続いて関東アコーディオン演奏交流会の実行委員である池田健氏が講師をつとめ、40人ほどの席はいっぱい埋まり、熱心な



質問もあいついだ。↑伴奏講座の様子

続いてNHKのど自慢のアコーディオン奏者としても活躍していたという小管隆氏(仙台在住)を講師に招いての初のワークショップもあり、アンサンブルや独奏をみんなの前で弾いて、それに対しての講評や指導があった。↓ワークショップの様子



その後、和室の大広間に移っての夕食の懇談会があり、昨年顔見知りになったアコ仲間との再会と楽しい歓談があり、熱心なアコ談義が夜遅くまで続いた。↓懇談会の様子



翌、9日(日)は宿からマイクロバスに乗り約20分ほどの「宮城県農業高等学校秋保校特別会場ホール」に移動しての会場作り(椅子並べ等)にも参加しながら実行委員長でもある元三多摩教室生だった遠藤氏に調達していただいたアコーディオン数台を使用させていただいたりして、開場前の練習をする。



↑二日目の会場となった宮城県農業高等学校秋保校(2009年廃校の予定)

9時から一般客の入場が始まる、舞台上には書道大家でもある中野理事長の直筆「東北アコーディオンジャンボリー」と書いた大きな幕が掲げられ、日本アコーディオン協会のほか秋保教育文化振興会の後援もあって地域との密着がより強く感じられた。

出演者の中には会場の高校の生徒によるギター演奏と歌や、秋保町の女性合唱団のコーラスがあり、アコーディオンの演奏ばかりか尺八が加わったりクラリネット、ハーモニ

